

編集後記



7月になるやいなや、四条烏丸界限は、どこからとなく「コンコンチキチン、コンチキチン」と祇園囃子の音が聞こえてきてきます。「ああ、もう、祇園祭の季節か」と、京の街全体が祇園祭に向けて盛り上がっていく雰囲気を感じるのですが、今年は聞こえてきません。新型コロナウイルスの影響で、京の夏の代表的な風物詩である山鉾巡行など主要行事が中止となってしまいました。1467年に始まった応仁の乱で33年間中止になったほか、太平洋戦争中、阪急電鉄の地下工事（1962年）で山鉾巡行などが取りやめとなっています。

祇園祭の起源は平安時代の869（貞観11）年に悪疫を封じ込む祇園御霊会（ごりょうえ）が始まりと言われており、当時の平安京で疫病が流行っていたことが要因の一つであったそうです。

新型コロナウイルスの感染が拡大した今年は、祇園祭の起源をあらためて思い起こさせるものとなりました。この疫病が一日も早く収まり、来年はまた、京の街に

祇園囃子が響くことを願わずにはいられません。個人的な楽しみで恐縮ですが、出店で売っている「前田のベビーカステラ」は来年までお預けです。（保健事業課・I）